

## ミャンマーの日本文化祭りで「あまちゃん」をPR ～祭りに参加した人たちは2日間で4万人あまり～

日本とミャンマーの外交関係樹立60周年を記念し、日本の文化などを紹介する祭り「ジャパンミャンマー プエドー (Japan Myanmar Pwe Taw)」がおととい(6日)と昨日の2日間、ミャンマー最大の都市ヤンゴンで行われました。(共催：NHK、NHKエンタープライズ、日本国際放送、在ミャンマー日本大使館、MNTV)

「プエドー」はビルマ語で「祭り」を意味する言葉です。会場では、金魚すくいや輪投げなど日本の祭りの風景が再現され、2日間で4万人あまりが参加しました。



会場の様子



ステージ上の蔵下穂波さん

ミャンマーでは、今月15日から現地のテレビ局MNTVでNHKの朝の連続テレビ小説「あまちゃん」の放送が始まることから、一足早く、会場でビルマ語の字幕つき映像が上映されました。

また、ステージでは、アイドルグループGMTの喜屋武エレン役として「あまちゃん」に出演した蔵下穂波さんが登場。ドラマでお馴染みのダンスを紹介したあと、「じゃじゃじゃ」コールを呼びかけ、会場全体を盛り上げていました。

会場では、世界で活躍する太鼓パフォーマンスグループの「TAO」が和太鼓を力強く演奏したほか、ミャンマー側からは、若い人たちに人気の男性トップアイドル、サイサイ・カンラインさんが歌を披露しました。

祭りの行われた2日間、訪れた人たちは日本の屋台の食べ物を味わったり、原宿のスタイルを紹介するKawaii ファッションのステージを見たりと、「日本」の雰囲気を楽しんでいました。

